

## IV-8 沖縄

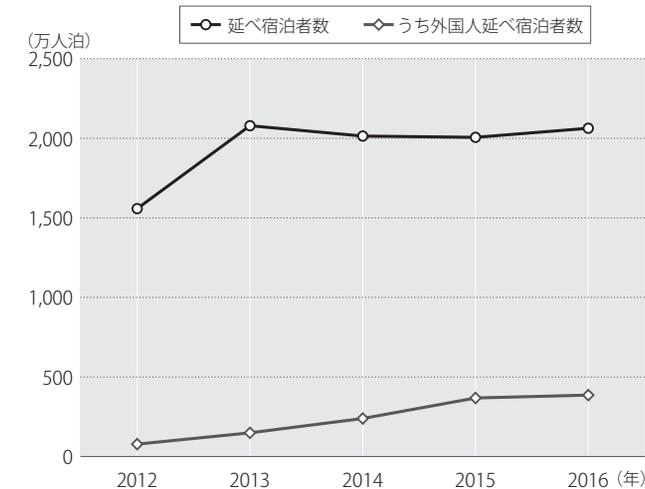
入域観光客数は861.3万人(暦年)で過去最多  
 続く外国人観光客数の増加と長期目標数値の見直し

### (1) 都道府県レベルの旅行者動向

観光庁「宿泊旅行統計調査」によると16年1～12月の沖縄の延べ宿泊者数は2,063万人泊となり、前年比2.8%増(57万人泊増)となった(図IV-8-1)。

一方、外国人延べ宿泊者数は386万人泊となり、前年比4.9%増(18万人泊増)で、54.3%増(130万人泊増)を示した昨年と比較して伸びは鈍化した。

図IV-8-1 延べ宿泊者数の推移(沖縄)



延べ宿泊者数	1,558	2,079	2,014	2,006	2,063
うち外国人延べ宿泊者数	78	149	239	368	386

資料：観光庁「平成28年宿泊旅行統計調査」をもとに(公財)日本交通公社作成

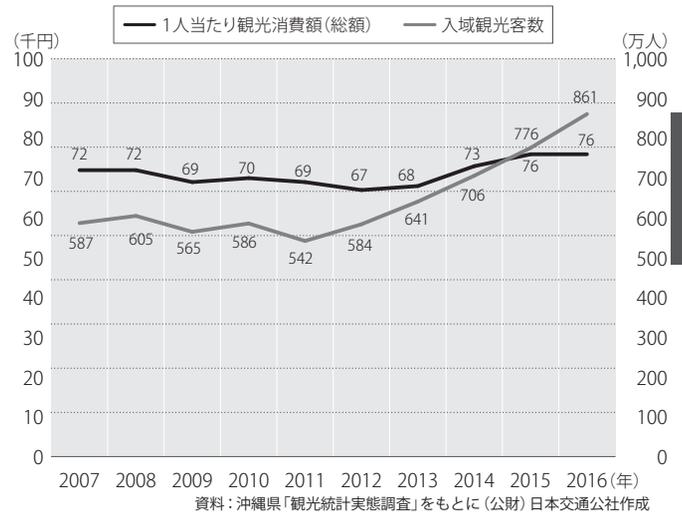
沖縄県が推計している「入域観光客数(含ビジネス客)」は、16年(暦年)で861万3千人となり、前年比11.0%増(85.0万人増)と過去最多で、3年連続で10%以上の伸びとなった(図IV-8-2)。

入域観光客数のうち、国内客は653万1千人(前年比4.3%増)、外国人客は208万2千人(同38.7%増)だった(図IV-8-3)。外国人客比率は拡大し続けており、16年は24.2%と観光客全体の約4分の1を占めるまでになった。国籍別に見ると、台湾60万7千人(前年比27.9%増)、韓国43万1千人(同44.8%増)、中国44万9千人(同51.5%増)、香港22万1千人(同16.5%増)、その他37万3千人(同54.1%増)で、比較的、中国と韓国が好調であった。

離島の動向をみると、沖縄県八重山事務所が公表している八重山地域の入域観光客数は、16年(暦年)が124万8千人(前年比11.9%増)となり、再び増加に転じた。一方、宮古島市が公

表している宮古島の観光客数も、16年(暦年)が69万3千人となり、前年比37.7%増(19万人増)と好調に推移した。

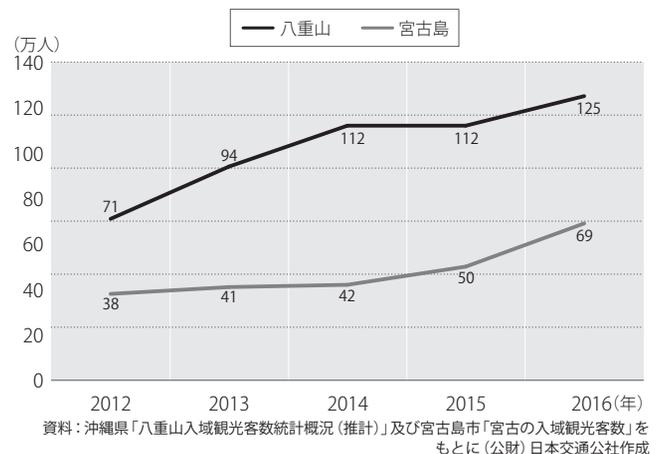
図IV-8-2 入域観光客数と1人当たり観光消費額の推移



図IV-8-3 国内客数と外国人客数の推移



図IV-8-4 八重山地域及び宮古島の入域観光客数の推移



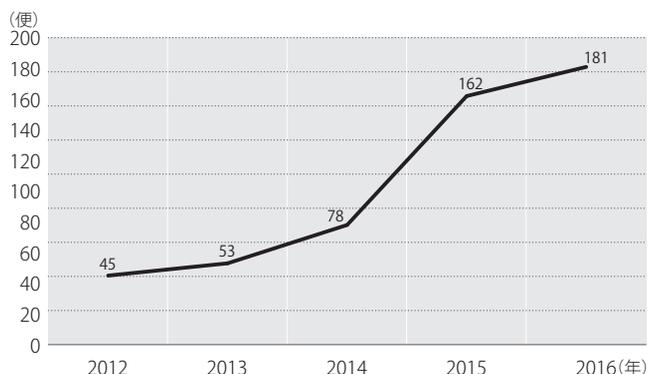
(2) 観光地の主要な動き

外国人客の増加に伴う入域観光客数の拡大を受けて、16年も国際線の増便、宿泊施設及び商業施設等のオープンが相次いだ。また、観光における長期計画である「第5次沖縄県観光振興基本計画」が中間の年を迎えて、2022年における目標数値の上方修正を行っている。

●国際線の増便

調査月が異なるため単純比較はできないものの、16年8月1日現在的那覇空港及び新石垣空港の週当たりの便数は181便で、前年(15年9月1日現在)に比べ11.7%増(19便増)となった(図IV-8-5)。主な内訳は、台北58便(提供座席数13,392席、石垣便を含む)、ソウル45便(同9,264席)、香港27便(同6,651席、石垣便を含む)、上海21便(同5,264席)、釜山10便(同1,725席)などとなっている。

図IV-8-5 那覇空港及び新石垣空港(南ぬ島石垣空港)における国際線(直行便)の便数(週当たり)の推移



資料：沖縄県「観光要覧」をもとに(公財)日本交通公社作成  
※2014年までは4月1日時点の便数、2015年は9月1日、2016年は8月1日現在の便数を掲載。

●宿泊施設の開業

16年から17年にかけてオープンした主な宿泊施設(名称変更等によるリニューアルオープンを含む)を表IV-8-1に示す。

外国人観光客をはじめとした宿泊需要の高まりを受けて、16年1月にオープンした「アルモントホテル那覇県庁前」を始め、同年4月オープンの「ホテルグレイスリー那覇」、同月「KARIYUSHI LCH. PREMIUM」、同年12月「アベストCUBE那覇国際通り」、17年6月「JR九州ホテルブラッサム那覇」、同年7月「EXES NAHA」など、那覇市内に多くのビジネス・シティホテルが開業した。また、那覇市内では「スマイルホテル那覇シティリゾート」や「ダブルツリー by ヒルトン那覇首里城」、「Community & SPA 那覇セントラルホテル」、「HOTEL AZAT」など、リブランド・リニューアルによるホテルの更新も相次いだ。

一方、那覇市以外の本島中北部・南部、そして離島地域においても、高価格帯の「ジ・ウザテラス ビーチクラブヴィラズ」(読谷村)、子ども連れ家族をターゲットにした「インギヤコーラルヴィレッジ」(宮古島市)など、様々な形態・価格帯の宿泊施設が供給された。

表IV-8-1 2016年から2017年にかけてオープンした主な宿泊施設

年月	宿泊施設名	所在地	室数
2016年1月	アルモントホテル那覇県庁前	那覇市	157
2月	スマイルホテル那覇シティリゾート(リオープン)	那覇市	226
2月	ベストウェスタンリゾート沖縄恩納ビーチ	恩納村	49
2月	ベストウェスタンリゾート沖縄幸喜ビーチ	名護市	56
3月	ジ・ウザテラス ビーチクラブヴィラズ	読谷村	48
4月	ホテルグレイスリー那覇	那覇市	198
4月	KARIYUSHI LCH. PREMIUM	那覇市	51
4月	カフーリゾートフチャクコンド・ホテルアネックス	恩納村	84
4月	ホテルニラカナイ西表島(旧星野リゾートトリゾナーレ西表島)	竹富町	140
6月	シェラトン沖縄サンマリーナリゾート	恩納村	245
7月	ダブルツリー by ヒルトン那覇首里城(旧ホテル日航那覇グランドキャッスル)	那覇市	333
10月	ブルーキャビン石垣島	石垣市	150
10月	ちゅらクル石垣島	石垣市	28
11月	ベッセルホテルカンパナ沖縄 別館	北谷町	163
11月	Community & SPA 那覇セントラルホテル(リオープン)	那覇市	190
12月	アベストCUBE那覇国際通り	那覇市	76
2017年1月	かりゆしコンドミニウムリゾート金武ヤカシーサイド	金武町	18
3月	ホテルWBF石垣島	石垣市	60
4月	HOTEL AZAT(旧ベストウェスタンホテル那覇INN)	那覇市	172
4月	グランヴィリオリゾート石垣島ヴィラガーデン	石垣市	100
4月	ホテルニラカナイ小浜島(リオープン)	竹富町	102
4月	ホテルアラマンダ小浜島(リオープン)	竹富町	60
6月	JR九州ホテルブラッサム那覇	那覇市	218
7月	EXES NAHA(エグゼス ナハ)	那覇市	64
7月	ユインチホテル南城 アネックスビル	南城市	94
7月	インギヤコーラルヴィレッジ	宮古島市	72

資料：新聞記事やホームページ等をもとに(公財)日本交通公社作成

●商業施設の開業

16年から17年にかけてオープンした主な商業施設・アミューズメント施設等を表IV-8-2に示す。

15年4月開業の「イオンモール沖縄ライカム」や15年8月開業の「瀬長島ウミカジテラス」の規模の大型施設の開業はなかったが、観光が好調な沖縄本島および石垣島を中心に多くの施設が開業した。

特に、那覇市における「RESORT MAGIC NAHA」や豊見城市の「ISLAND MAGIC SENAGAJIMA」、名護市の「ナンマイイ ネイチャーリゾート」、石垣市の「グランピングリゾート ヨーカブシ」など、人気のグランピングを楽しむことのできる施設の

表IV-8-2 2016年から2017年にかけてオープンした主な商業施設・アミューズメント施設

年月	商業施設名	所在地	概要
2016年3月	石垣島ヴィレッジ	石垣市	石垣港離島ターミナルから徒歩2分。八重山・石垣島ならではの食材をアレンジした飲食店が併設。18店舗が出店。
4月	自然体験型観光施設「ヤンバルランチャー」	名護市	大型四輪駆動車ハマーやバギーで、ガイド付きの自然体験、モトクロスコースの走行が楽しめる自然体験型観光施設。
4月	大宜見シークワサーパーク	大宜味村	県産食材を取り扱う会社が開設。大宜味村で収穫したシークワサーを搾る工場見学や特産品の販売、軽食などを楽しめる。
4月	ザシギリフト「オーシャンスカイ」	宮古島市	シギリリゾート内に設置された沖縄初のベアリフト。全長283mで、小高い丘から海までの13分間の空中散歩を楽しめる。
9月	トゥクトゥク・ステーション 那覇国際通り店	那覇市	東南アジアで日常利用されているトゥクトゥク(三輪タクシー)のレンタカー店舗。公道での走行が可能で、普通免許保持が必要。
9月	ブルーシールアイスパーク	浦添市	ブルーシール牧港本店の隣にオープンしたアイスのテーマパーク。歴史展示ゾーン 飲食スペースを備え、オリジナルのアイスバー作り体験などもできる。
10月	グランピングリゾート ヨーカブシ	石垣市	石垣市で初となるグランピング施設。かつての宿泊施設を改装、屋外レストランにヴィラ・コンドミニウムタイプの宿泊施設を併設。
10月	ナンナムイネイチャーリゾート	名護市	名護市にオープンしたグランピング施設。約1haに及ぶ敷地面積はキャンプ場としても県内最大級。レストラン・ホテルも併設。
2017年1月	ギノザリゾート「美らの教会」	宜野座村	本島東海岸に位置する沖縄最大級を誇るウェディング施設。ガラス張りが特徴的なチャペルに、パーティールーム、フォトスタジオなどを併設。
1月	PANZA Okinawa (シェラトン沖縄サンマリーナリゾート内)	恩納村	全長250mのジップライン「MegaZIP」と高さ13mから地上へダイブする「GoFALL」が楽しめる施設。宿泊者以外も利用可能。
4月	730court	石垣市	ユーグレナモールに隣接。石垣港離島ターミナルから徒歩3分。飲食店や土産品店などが出店する複合型商業施設。
5月	RESORT MAGIC NAHA (波の上みそら公園内)	那覇市	波の上みそら公園内にオープンしたバーベキュー場。手ぶらでバーベキューを楽しめる。
6月	ISLAND MAGIC SENAGAJIMA	豊見城市	瀬長島のホテル、温浴施設に近接してオープンしたグランピングとバーベキューが楽しめる施設。キャンピングカーへの宿泊も可能。

資料：新聞記事やホームページ等をもとに(公財)日本交通公社作成

開業が相次いだ。

(3) 2017年度の観光の目標および2022年度の目標

県が発表した「平成29年度ビジットおきなわ計画」によると、17年度の観光収入は7,504億円(前年比13.6%増)、観光客1人当たり県内消費額は79,000円(同4.9%増)、平均滞在日数は3.88日

(同0.17日増)、人泊数は2,734万人泊(同15.0%増)、入域観光客数は950万人(同8.3%増のうち外国人観光客数は265万人(同24.4%増、同52万人増)の達成を掲げている(表IV-8-3)。最も重要な目標に掲げる観光収入を伸ばすため、好調な観光客数の伸び、特に外国人観光客数の伸びに大きな目標数値を掲げ、消費額と滞在日数については比較的控えめな設定となっている。

なお、沖縄県の中長期的な観光振興の基本的な方向を示す「第5次沖縄県観光振興基本計画」が16年度に中間見直しの年度を迎え、過去5年の実績値および県内外の諸環境を踏まえて、22年度に掲げる達成目標の見直しが行われた。それによると、観光収入は1.1兆円(12年度策定時より10.0%増)、観光客1人当たり消費額は93,000円(同7.0%減)、平均滞在日数は4.5日(同10.0%減)、人泊数は4,200万人泊(同4.3%増)、入域観光客数は1,200万人(同20.0%増)と、特に観光客数についての目標値の上方修正が大きい形となった。

(中島泰)

表IV-8-3 2017年度の数値目標

項目	対象	目標値	前年度比	実績値(平成28年度)
観光収入	全体	7,504億円	13.6%増	6,603億円
	うち国内	5,275億円	6.3%増	4,964億円
	うち空路海外	1,872億円	33.3%増	1,404億円
	うち海路海外	357億円	51.9%増	235億円
観光客1人当たり県内消費額	全体	79,000円	4.9%増	25,297円
	うち国内	77,000円	3.0%増	74,763円
	うち空路海外	117,000円	19.3%増	98,097円
	うち海路海外	34,000円	1.0%増	33,656円
平均滞在日数	全体	3.88日	0.17日増	3.71日
	うち国内	3.94日	0.16日増	3.78日
	うち空路海外	5.50日	0.79日	4.71日
人泊数	全体	2,734万人泊	15.0%増	2,377万人泊
	うち国内	2,014万人泊	9.1%増	1,846万人泊
	うち空路海外	720万人泊	35.6%増	531万人泊
入域観光客数	全体	950万人	8.3%増	877万人
	うち国内	685万人	3.2%増	664万人
	うち海外	265万人	24.4%増	213万人

資料：「平成29年度ビジットおきなわ計画」(沖縄県文化観光スポーツ部)をもとに(公財)日本交通公社作成

表IV-8-4 2022年度の数値目標

項目	対象	16年度改定	修正幅	12年度策定時	
観光収入	全体	1.1兆円	10.0%増	1兆円	
観光客1人当たり県内消費額	全体	93,000円	7.0%減	100,000円	
	平均滞在日数	全体	4.5日	10.0%減	5.0日
	人泊数	全体	4,200万人泊	4.3%増	4,027万人泊
うち国内		3,200万人泊	1.5%増	3,152万人泊	
うち空路海外		1,000万人泊	14.3%増	875万人泊	
入域観光客数	全体	1,200万人	20.0%増	1,000万人	
	うち国内	800万人	増減なし	800万人	
	うち海外	400万人	100.0%増	200万人	

資料：「第5次沖縄県観光振興基本計画」(沖縄県文化観光スポーツ部)をもとに(公財)日本交通公社作成